

| 図 書 名                                       | 内 容                                                                                                                                 | 著 者                       |
|---------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 「つながり」を育み<br>授業を愉しむ                         | 「つながりを育む」をコンセプトに、学級づくりと授業づくりの視点と方法を楽しく綴ったエッセー風の読本。「人権・道徳」の授業と教材研究に新風を吹き込むための実践的なアイデアも満載。                                            | 園 田 雅 春                   |
| 担任・教室のお悩み解消<br>～何でも相談12か月～                  | 4月の学級開きから3月まで、時期に応じた学級づくりの悩みに丁寧に答こたえるかたちで、学級づくりの考え方や具体的な方法を提示する。                                                                    | 土 田 光 子                   |
| 多様性の学級づくり<br>人権教育アクティビティ                    | 「違い」が「差別」につながってしまいやすい現実を学び、差別を見抜いてなくすようにとりくむ多様性教育(反差別の教育)の考え方や具体的なすすめ方、資料、ワークシートなどを掲載。                                              | 大阪多様性教育<br>ネットワーク・<br>森 実 |
| 自尊感情が育つ元気教室                                 | 自尊感情の形成に金はいらない。学校ではこれの集団的な形成が可能なのだ。学習意欲と人権感覚の源泉である自尊感情を育むための一助として、48のコラムで編集。                                                        | 園 田 雅 春                   |
| じんけん スキルブック                                 | 人権について主体的に学び、具体的な生活場面と関連づけながら問題解決のスキル(技能)を育てるために、ライフステージに応じてすぐに活用できる内容で手法を紹介。                                                       | 兵庫県人権教育<br>研究協議会          |
| じんけん スキルブック<br>Ⅱ                            | 同和問題をはじめさまざまな人権問題の学習にすぐにとりくめるよう、その内容や具体的な方法、資料、ワークシートなど参加体験型の学習のための実践活用集。                                                           | 兵庫県人権教育<br>研究協議会          |
| じんけん スキルブックⅢ                                | 同和問題をはじめさまざまな人権問題の学習にすぐにとりくめるよう、その内容や具体的な方法、資料、ワークシートなどを掲載。                                                                         | 兵庫県人権教育<br>研究協議会          |
| これで分かった部落の歴史                                | 前近代の部落史を、大学での講義をもとに部落問題と人権問題との関係も視野に入れ執筆。雇場の仕事をはじめ部落での経験と多くの史料・図表・写真を使ったわかりやすい入門書。                                                  | 上 杉 聡                     |
| これでなっとく部落の歴史                                | 「これで分かった部落の歴史」の続編。解放令(賤民廃止令)などについても、新たな視点で近現代の部落史を分かりやすく解釈・説明を加えた入門書。                                                               | 上 杉 聡                     |
| 部落史に学ぶ                                      | 近年の部落史研究の成果をふまえた新しい見方・考え方にたった部落史学習の展開について解説。6年社会科の授業結果から資料に検討を加え、授業試案を提示。                                                           | 外 川 正 明                   |
| 部落史に学ぶ 2                                    | 第1章 部落史学習を組み立て直す 第2章 社会認識を育てるための部落史学習<br>第3章 前近代の歴史から現代を学ぶ学習プラン<br>第4章 近現代の歴史から未来を学ぶ学習プラン (上記をさらに詳しく解説)                             | 外 川 正 明                   |
| はじめてみよう！<br>これからの部落問題学習<br>小学校、中学校、高校のプログラム | 部落問題学習を始めるにあたっての基礎知識を概説し、実践記録をもとにした小・中・高別のプログラムを提起。「どこに部落があるの？」との質問にどう答えるか」など学校現場の疑問にもQ&A形式のコラムで答え、部落問題学習の実践をすすめる。                  | ひょうご部落解<br>放・人権研究所        |
| 部落問題学習の授業ネタ                                 | 部落に対する誤った情報が語り継がれていくことを断ち切り部落差別をしない子どもを育てるために、授業の中で自分を見つめ身のまわりを見つめる作業をしていくための授業ネタ。「5歳から18歳でやってみよう」と結婚差別、社会科日本史、絵本の3テーマからネタと授業略案を掲載。 | 部落問題学習<br>ネタをつくらう会        |
| 部落問題学習の授業ネタ 2                               | 民衆史と部落史研究の成果を反映させ、日本史を学ぶ中で身のまわりの行動化につなげるための授業ネタと略案。コラムや資料も教材化することで、多くの子どもたちとともに教師も部落史をはじめ日本史に対する興味関心がふくらむ。                          | 部落問題学習<br>ネタをつくらう会        |
| 部落問題学習の授業ネタ 3                               | 日々の暮らしのあたりまえに潜む部落差別につながる偏見や差別意識に気づき、主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践のために、指導案と教材文や資料、地域や子どもの実態に即してアレンジするための「ヒント」を添えて丁寧に解説。                      | 部落問題学習<br>ネタをつくらう会        |
| やってみよう！<br>人権・部落問題プログラム                     | 人権学習が“人ごと”から“我がごと”になるよう、人権学習によって人権問題と自らとのかかわりに気づき、人権尊重のために自らが行動することをめざすプログラム。                                                       | 大阪府人権協会                   |
| 子どもの自尊と自律を<br>育てる保育環境                       | 保育の現場がますます複雑化する現在、見える保育、分かりやすい保育を念頭に、子どもの豊かな自尊感情に根ざした自律性を育てるために、カルク博士(オランダ)を中心に開発したピラミッド・メソッド理論についてわかりやすく解説した。                      | 辻 井 正                     |
| アクティブ・ラーニング<br>プロジェクト法                      | 幸せの国オランダの子どもたちが自ら考える生きる力の基礎を身につけるアクティブラーニングの一つである「プロジェクト幼児教育法」について、小学校との連帯を視野に入れた質の高い幼児教育法を具体的にやさしく手ほどきした。＜理論編＞                     | 辻 井 正                     |
| 続 アクティブ・ラーニング<br>プロジェクト法[実践編]               | 学びの質を深めるために、幼児・児童・生徒が討論やグループ活動を通して課題を発見、解決する学習法は「アクティブ・ラーニング」といわれ、これを文科省が2020年から導入している。                                             | 辻 井 正                     |